

カテゴリ・関連するSDGs		マテリアリティ	主な施策	重要管理指標／重要計測指標	2025年度 目標値(目標年度)	
事業を通じて社会に貢献できるマテリアリティ	1. 安全・安心で レジリエントな 社会の実現 	強靱な社会基盤の構築	防災・減災への対応	防災・減災への対応件数	-	
				災害復旧の対応状況(大規模災害が発生した場合)	-	
		建物とインフラの長寿命化	建物とインフラの長寿命化への対応	リニューアル工事の受注件数	-	
				インフラ更新工事の受注件数	-	
	2. 健康・快適に 暮らせる インクルーシブな 社会の実現 	快適なまちづくり	デジタルを活かした快適な空間・サービスの提供	DX-Coreの導入件数・提案件数	-	
		Well-being対応	Well-beingの提供	Well認証の受託件数	7件以上 (2025年)	
	事業・経営基盤のためのマテリアリティ	3. 地球環境に 配慮した サステナブルな 社会の実現 	脱炭素	事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減	建設事業におけるCO ₂ 排出量 (2023年度比)削減率	12%以上 (2026年)
					Scope1+Scope2のCO ₂ 排出量 (2023年度比)削減率	12%(2026年) 61%(2035年) 100%(2050年)
				ZEB化の推進	ZEB認証の取得件数	-
					再生可能エネルギーの普及・促進	運営事業による再生可能エネルギー発電量
投資開発保有物件における再生可能 エネルギー導入率			100%導入 (2030年)			
			資源循環	4R活動の推進	建設副産物の最終処分率	3.0%未満 (2030年)
木質建築の普及・促進				木造・木質ハイブリッド構造の施工件数	-	
自然共生(生物多様性の保全)			グリーンインフラの推進	自然KYによる環境分析実施率	100% (2026年)	
環境汚染防止		環境コンプライアンスの徹底	重大な環境不具合件数	0件 (2025年)		
4. 誠実な ものづくりの 推進 		生産性の向上	建設事業における生産プロセス改革	建設事業における自動化・省人化の進捗状況	-	
	品質の確保	顧客とのコミュニケーション活性化による 品質ニーズの把握	CS(顧客満足)調査回答の全社展開	-		
	サプライチェーンの強化	CSR調達の推進	CSR調達ガイドライン取組指標	4.0 (2026年)		
		建設技能労働者の処遇改善、人財育成	清水匠技塾の受入人数	年1,800人以上 (2026年)		
	労働安全衛生の徹底	安全衛生管理の向上と労働災害防止活動の 推進	安全衛生度数率	0.57以下 (2025年)		
5. 時代を先取りする 新しい技術と 価値の創造 	先端技術開発	安全安心、快適で持続可能な社会の 実現に向けた技術開発の推進	研究開発費	230億円 (2025年)		
	新たなビジネスモデルの創出	オープンイノベーションの活性化	他社・他分野との事業連携等の状況	-		
6. 次世代を担う 人財の育成と 働きがいの追求 	働きがいと魅力あふれる 職場づくり	対話による意識・行動改革と サーベイによる課題の見える化	エンゲージメントスコア	4.0以上 (2026年)		
	ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン	ダイバーシティ経営の推進	女性管理職比率	6%以上(2026年) 10%以上(2030年)		
			障がい者雇用率	2.7%以上(2026年)		
	挑戦し共創する 多様な人財の育成	グローバルに通用し、改革を率先する リーダー人財の育成	リーダー人財育成に資する戦略の進捗	-		
		経営戦略に基づいた専門教育の実践	建設基幹資格取得率	80%以上維持 (2026年)		
			DXコア人財の育成	120名育成・ 全部門配置(2026年)		
	人権の尊重	人権デュー・ディリジェンスの実施	人権デュー・ディリジェンスの進捗	-		
7. 「論語と算盤」を 基本に据えた 経営基盤の構築 	リスクマネジメント	リスクマネジメントの徹底	重大な法令違反件数	0件 (2025年)		
			重大な情報セキュリティ事故件数	0件 (2025年)		
	コンプライアンスの徹底	企業倫理の浸透とコンプライアンスの徹底	「論語と算盤」を基本に据えた企業倫理研修等の施策の進捗	-		